事　務　連　絡
令和６年８月２０日

関係各位

三重県農業研究所 基盤技術研究室
フード・循環研究課

令和 6 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会の参加申込について

標記研究会につきまして、農研機構 中日本農業研究センターからの案内のとおり、本年度は三重県で開催します。つきましては、下記の方法で期日までに参加をお申し込みください。

なお、本連絡は各都県・機関の代表者のみに送付しますので、貴都県・機関の関係者の皆様への連絡にご配意いただきますようお願いします。研究会の詳細は別紙 1 のとおりです。

記

1　申し込み方法

以下の URL または二次元コードから MS-Forms によりお申し込みください。

※ 今年度は、メール添付による申込書の受け付けは行いません。

※ 申し込みの取りまとめは、農研機構 中日本農業研究センターが行います。

https://forms.office.com/r/EkUrw0HL5k

申し込み締め切り：9 月 13 日（金）

※ 9 月 13 日までの変更内容は、再度 MS-Forms に必須事項を入力の上、「9. 秋季研究会事務局への連絡事項」欄にご記入・送信ください。

※ 9 月 14 日以降に変更が生じた場合は、農研機構 中日本農業研究センター 事務局（carc-soil_autumn-meeting@ml.affrc.go.jp）にご相談下さい。

※ 10 月 18 日（金）以降は情報交換会にキャンセル料（6,500 円）が発生します。

2　その他連絡事項

（1）宿泊について：各自で手配してください。

（2）近鉄四日市駅と JR 四日市駅は研究会会場をはさんで離れた位置にあります（地図参照）。

（3）10 月 21 日（月）の昼食について

ご来場前に各自でお取りください。飲食店は近鉄四日市駅周辺に多くあります。

※ 会場内でのお飲み物は各自でご用意ください（初日のお茶の配布はありません）。1 階に自動販売機もございます。

（4）オンライン接続情報について：研究会は対面とオンラインによるハイブリッド開催です。

後日、オンライン参加の方には接続情報を送信します。

資料は事前に PDF ファイルで配布（送信）しますので、各自で印刷してご用意ください（会場での配布は行いません）。

（5）情報交換会について

10 月 21 日（月）18:00 までに情報交換会会場（地図参照）にお越しください。会費（6,500 円）は研究会の受付にて承ります。

（6）現地検討会について

10 月 22 日（火）は 8:50 までに集合（地図参照）、受付をお願いします。

帰路は、近鉄四日市駅にて 12:30 解散の予定です。

３　問い合わせ先

（１）関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

ア 農研機構 中日本農業研究センター　温暖地野菜研究領域　環境保全型栽培グループ

主席研究員　徳田 進一 (Tel: 029-838-8814、e-mail: carc-soil_autumn-meeting@ml.affrc.go.jp)

イ 関東東海土壌肥料技術連絡協議会

（ア）正会員：農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 研究推進室

推進チーム長　鈴木 克拓 (Tel:029-838-7157、e-mail: suzukatu@affrc.go.jp)

（イ）賛助会員及び準会員：JA 全農　東日本営農資材事業所

主席技術主管　齋藤 研二

(Tel: 03-6271-8296、Fax: 03-5218-2540、e-mail: saitou-kenji-w@zennoh.or.jp)

（２）現地検討会（10 月 22 日）

三重県農業研究所　基盤技術研究室　フード・循環研究課　課長　橋爪　不二夫

（Tel: 0598-42-6361、Fax: 0598-42-1644、e-mail: hashif00@pref.mie.lg.jp）

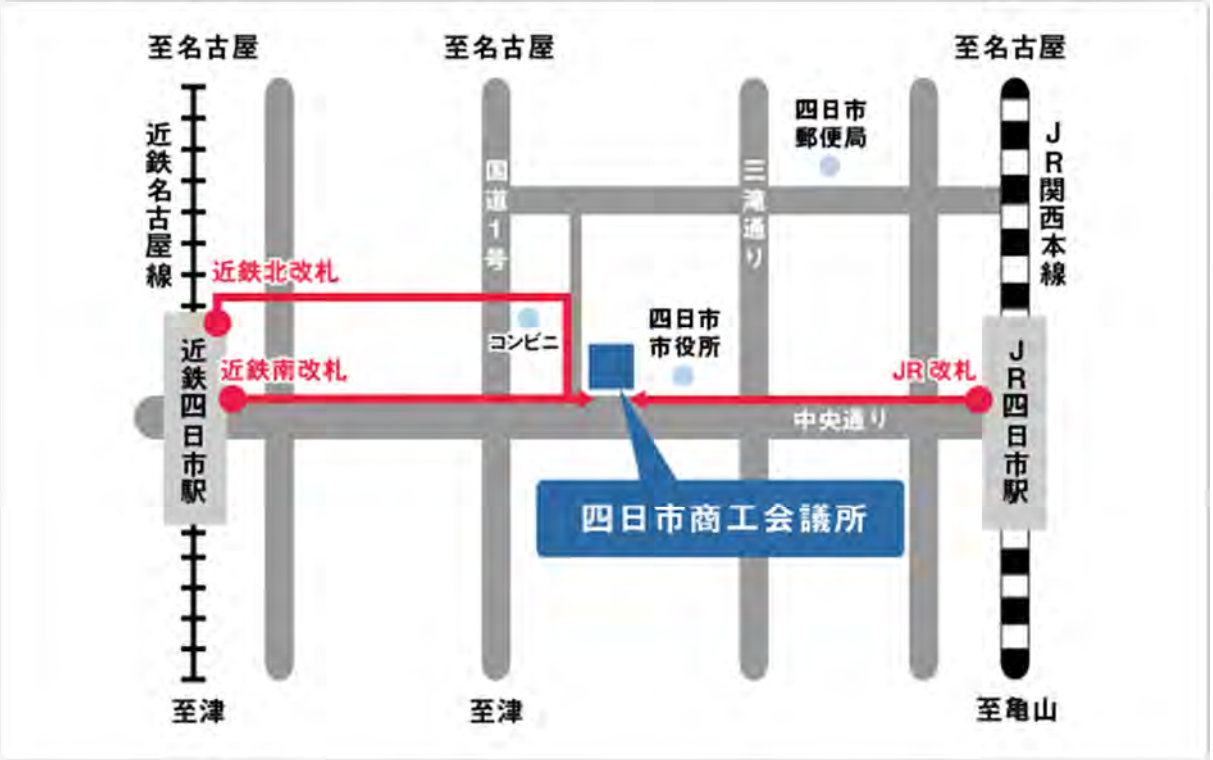
担当：三重県農業研究所　基盤技術研究室
フード・循環研究課　課長　橋爪　不二夫

●10 月 21 日（月）12 時 15 分受付開始

研究会会場:「四日市商工会議所」(〒510-8501　三重県四日市市諏訪町 2-5　TEL:059-352-8191)

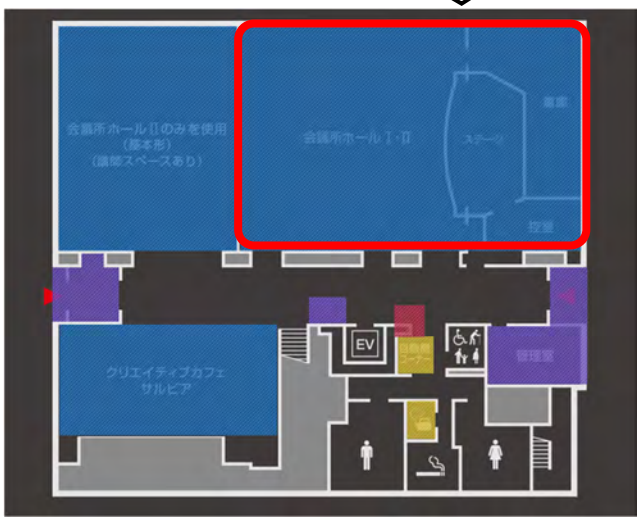
近鉄四日市駅から東へ 500m、徒歩で約 7 分

対面とオンラインによるハイブリッド開催



※ご来場前に昼食は各自でお願いします。近鉄四日市駅周辺にはたくさんの飲食店があります(JR 四日市駅周辺には少ないです)。

10 月 21 日 PM 秋季研究会の会場
1 階　会議所ホール I



●10 月 21 日（月）18 時から　情報交換会

情報交換会会場：「プラトンホテル四日市」　5 階ヴェネチアホール

（〒510-0087 四日市市西新地 7-3　TEL：059-352-0300）

近鉄四日市駅から北東へ 250m、徒歩で約 3 分

四日市商工会議所から北西へ 650m、徒歩約 9 分

●10 月 22 日（火）　現地検討会

現地検討会に参加される場合は移動用の貸切バスにご乗車ください。

8 時 50 分までに以下地図の集合場所（赤で囲った所）へお願いします。

10 月 22 日（火）　8:50（配車は 8:45）までに
近鉄四日市駅西口のみずほ銀行四日市支店前に
ご集合ください。

別紙１

令和６年度関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

１　日　時

令和６年 10 月 21 日（月）13:15～17:00

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会・秋季研究会

令和６年 10 月 22 日（火）8:50～12:30

現地検討会

２　内　容

関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会 令和６年度秋季研究会

・日時：令和６年 10 月 21 日（月）13:15～17:00

・場所：四日市商工会議所 １階 会議所ホールⅠ（三重県四日市市諏訪町 2-5）及びオンライン

・テーマ：緑肥利用技術の新たな展開

（１）緑豆すき込み法によるダイズシストセンチュウ防除と環境負荷低減へのアプローチ

豊田 剛己 教授（東京農工大学大学院 生物システム応用科学府）

（２）戦略的スマート農業技術の開発・改良「緑肥の肥料効果の面的把握とすきこみ方法の改善に基づく減化学肥料栽培技術の開発」の取り組み

１）プロジェクトの概要

唐澤 敏彦 氏（農研機構 中日本農業研究センター）

２）水稲→子実トウモロコシ→ダイズ輪換体系へのマメ科緑肥の導入効果

佐藤 孝 教授（秋田県立大学 生物資源科学部）

３）緑肥導入における緑肥の細断サイズ、すき込み方法の検討

森 伸介 氏（農研機構 中日本農業研究センター）

（３）三重県における緑肥活用に向けた取り組み

堂本 晶子 氏（三重県農業研究所）

（４）全国での緑肥利用事例

和田 美由紀 氏（雪印種苗株式会社）

（５）緑肥作物を活用した土づくりと有機野菜栽培

－生産性の向上と環境負荷低減を目指して－（※オンライン）

米倉 賢一 氏（有機稲作研究所/伊豆陽なたビオファーム）

（６）総合討議

３　現地検討会　10 月 22 日（火）8:50～12:30

バス２台で移動します。バス２台で視察順序は異なりますが、ご了承願います。

・株式会社杉本農産（鈴鹿市長澤町 44 付近）

水田経営体

経営面積（水稲 35ha コムギ 50ha 大豆 25ha　飼料用米 3ha）

昨年度、土づくりを目指した小麦立毛間播種に試験的に取り組み。

・イチバリキファーム（鈴鹿市山本町 210-45 付近）

茶露地野菜複合経営体

経営面積（茶 3ha、ネギ・ハクサイ・かぼちゃ・スイートコーン各 50a）

緑肥を露地野菜に組み込んだ作付け計画を策定。